

Hydrophobinum (「Lyssin」を参照)

Hyoscyamus ヒヨス

総体的症状：一般にヒヨスとして知られ、精神、脳、神経系に、激しい害を及ぼす。悪魔のような力が脳を支配し機能を奪っているように思える。躁病の完璧な像を、けんかつ早い好色な性質の完璧な像をもたらし。痙攣、震え、痙攣性のぐいっとする動き、痙攣性のぴくぴくする動き・攣縮、疼痛性痙攣が、際立った徴候。急性の躁病または痙攣が、深い昏眠と交互に現れる、またはそれで終わる。つかみかかるような、または、ぎくしゃくした腕の動き；腕を投げ出す、取ろうとしたものを取り落とす；歩行時によろめく。麻痺の後の痙攣。てんかん；発作前のめまい。突然地面に崩れ落ちて泣く。撮空模床、シーツをつまむ、指で。あおむけに寝ているとき、突然座りなおし、また寝る、子どもはすすり泣く、眠ったままで。子癇。振戦、発熱時。敗血症。寝床で滑り落ちる。悪露または母乳の抑圧、恐怖、失恋の悪影響。舞蹈病；部分的な、単一筋肉の痙攣；斜視、どもり。神経質で、過敏、興奮しやすい人に適合。空気の上や空中を歩いているような感覚。

悪化：感情；嫉妬；恐怖；不幸な恋愛。月経前、月経中。接触。寒さ。睡眠。横たわる。

好転：座る。動作。暖かさ。かがむ。

精神：多くの、当惑するような、常軌を逸した行動。躁病。官能的な女性、性器を露出する、なまめかしい歌を歌う。ばかげたことをする、狂った人のようにふるまう。笑う、歌う、話す、意味のない音を発する、けんかをする。性器をいじくり回す。嫉妬。疑い深

い。独りになること、追われること、水、毒を盛られること、かみつかれることなどを恐れる。何に対しても笑う、ばかのように。落ち着きがない、寝床から跳び起きる、逃げ出したい。一言一言を大声で話す。怒り、殴りたい、かみつきたい、けんかしたい、侮辱したい、説教したい、殺したい衝動を伴う。大声で苦情を訴える、特にわずかな接触で、意識がもうろうとしているときでさえも。無意識、ほとんど意識を取り戻させることができない。喃語性せん妄。自分が家にいないように思う。恐怖からの失声。混乱。最初は考えることができず、そして、辛うじて思考力を取り戻す。想像上の人物と話す、死者に話しかける。物が動物のように思える。動物にかみつかれる恐怖。指で遊ぶ。愚か、こっけいな動作をする。手が大きすぎるように見えるので見つめる。梅毒感染恐怖。

頭部：頭の波状的な脈動。ずきずきする頭痛。めまい、痙攣前の、花、ガスなどのにおいから。頭を前後に回す、振る；前に曲げるとき、昏迷状態で、脳振とう後。脳が緩んだように感じる。頭の中で水がはねているように感じる。

目：光を嫌悪。目は開いていても、注意は向けていない。まぶたの痙攣。眼球が眼窩を動く。斜視。周囲の物をじっと見つめる。物；赤く、大きく、または縞（黄色い）があるように見える。

耳：難聴、聴覚神経の麻痺。

鼻：すすけた鼻孔。突然、鼻の付け根がびくつとする。嗅覚と味覚の喪失。

顔：青白い、紅潮した、濃い赤。筋肉痙攣。しかめっ面、ばかげたしぐさをする。下顎がはずれる。筋肉痙攣、舌を突き出そうとしたとき。開口障害。

口：歯の煤色苔；歯をきっちりかみ合わせる。口の泡。舌を突き出すのが難しい、なかなか中に入れられない。正常に話せない、恐怖から。硬い、赤黒い、ひび割れた舌、焼け焦げた皮のよう。話の途中

で舌をかむ。舌の乾燥、口の中でもごもごしゃべる。子どもの、痙攣時の歯ぎしり。かむとき、歯がぐらつくように、また、長すぎるように感じる。激しい歯痛、手、顔などの筋肉痙攣を伴う。

喉：口蓋垂の伸長。喉の痙攣、水分を飲み下すことができない；>固形物と温かい食べ物。液体が鼻から出てくる、または喉頭から下に落ちる。

胃：しゃっくり；脳振とうから、乳児の。痙攣に伴う嘔吐。胃の痙攣、>嘔吐後、<刺激的な食べ物による。水を嫌悪。

腹部：疝痛、まるで腹が破裂するかのよう。疝痛；嘔吐、おくび、しゃっくり、悲鳴を伴う。腹の赤い斑点。開いた臍孔、尿がにじみ出る。不随意の排便、血の混じった、黄色い、水っぽい、または硬い、<精神的興奮、睡眠中；発熱時、排尿時。胃炎、または腹膜炎、しゃっくりを伴う。下痢、産後の。

泌尿器：頻繁な、微量の、痛みを伴う、夜ごとの排尿；または尿閉、産後；膀胱麻痺。尿失禁。

男性：わいせつ；性器の露出、性器をもてあそぶ、発熱時。

女性：わいせつ；性器の露出、女子色情症。ヒステリー、またはてんかんの発作、月経前。痙攣性の手足の震え、月経中。遺尿、月経時。痛みのない下痢、出産の床についた女性の。こじれて子宮を侵し、陣痛様の痛みをもたらすかぜ。妊娠中の痙攣。産床で排尿をする意思がない。乳と悪露の抑圧。

呼吸器：渴いた、しきりに出る、痙攣性の咳、喉頭の乾いた部分から、夜間の、<横たわる、食べる、飲む、話す、歌う、>座る。喀血；鮮紅色の血、痙攣を伴う。息切れを伴う胸部の痙攣、息切れ、二つ折れにならざるをえない。消耗性の咳、発汗を伴う。

首：硬い、片側に収縮。

四肢：手足の震え。歩行時、階段を上がるとき、足指が痙攣的に収縮する。手の親指の収縮による握りこぶし（痙攣時）。

睡眠：神経性の不眠。返事をしながら眠りに落ちる。恐怖で跳び起きる。一度座って、また眠る。深い眠り。睡眠中に笑う。

熱：低熱（訳注：心理的な抑うつ状態および精神活動の鈍磨を伴う熱）、熱く、青白い皮膚を伴う。温かい汗。

関連レメディ：Bell., Phos., Stram.

Hyoscyamine hydrobromate 臭化水素酸ヒヨスシアミン

総体的症状：多発性硬化症の振戦と振戦麻痺を緩和する。不眠と神経興奮。

Hypericum セイヨウオトギリソウ

総体的症状：感覚神経に富む部位、特に手指、足指、爪床の損傷に優れた力を発揮するレメディ。裂傷；耐えがたい、激しい、撃ち抜かれるような、刺されるような痛みがあり、神経にまで傷が及んでいる場合。脳と脊髄の損傷、またはそのような損傷による後遺症。すべての損傷後の痙攣。非常に痛む患部、後頭部、尾骨など。痛みはむずむず感やしびれを伴って胴体のほうへ広がる、体側面を下降する。頭または胸、みぞおち、肩甲骨間、手の指先などの神経炎。突き上げるような、患部の痛み。うずき・灼熱感・しびれ、神経炎を伴う。歯根の神経痛、身震い。破傷風の予防、手術後の痛みの緩和。関節の打撲感。身体を何かにぶつけた後の痙攣。四肢のぐいっとする動き。刺創、穿通創、接触に非常に敏感。恐怖、かまれること、ショックの悪影響。傷は見かけよりも触ると痛いのが特徴。あおむけに寝る、頭を発作的に後ろに動かす。古い瘢痕の痛み。